

# 石島会計メモ



平成 24 年 1 月

文責 石島 洋一

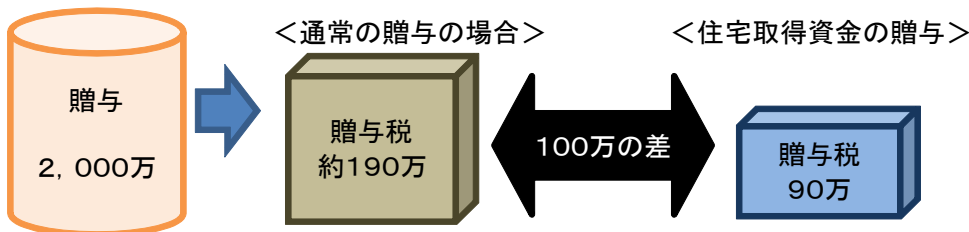
## 平成 24 年税制改正 (案) のつまみ食い

新しい年が始まりました。平成 24 年ということで、今回は平成 24 年税制改正 (案) の一部をご紹介します。順調にいけば、3 月の国会で確定することになります。

### 親から子へ住宅購入資金を贈与した場合の優遇

親から子へ資金を贈与した場合、贈与税がかかります。贈与税は他の税金と比べても、高額になりやすいものです。ただし、住宅を取得するための資金を贈与した場合は、贈与税が軽減される特例があります。

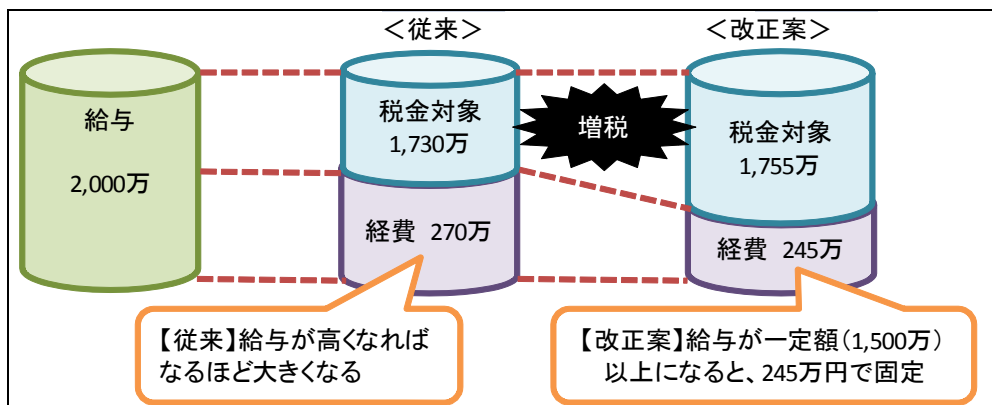
【例】親から子へ同じ 2,000 万円贈与した場合でも…



上の例のように、贈与税額にかなりの違いが出てきます。これに加え、今回の改正では省エネルギー性・耐震性を備えた良質な住宅を取得する場合は、さらに贈与税が低くできることになっています。

### 給与が高い人は増税

給与をもらうと税金が取られてしまいますが、給与そのものに税金がかかるわけではなく、給与から経費概算額を差し引いた額に税金がかかります。今までは給与が高くなればなるほど、経費概算額が大きくなるという仕組みになっていました。しかし、今回の改正案では、一定金額以上給与をもらう人の経費概算額に上限が設けられることになりました。



# 石島会計のウラ面



(文責：石島慎二郎)

私、所長代理の石島慎二郎は、1年に新しいことを3つ始める、と決めています。  
(といっても、昨年からです…)

昨年は、①ゴルフ、②マラソン (東京マラソン)、③宝塚デビュー (念のため申し添えておきますが、登壇デビューではなく観劇の方です) の3つでした。他にもいろいろありましたが、前々からやりたいと思っていたもののなかなかできなかったのがこの3つです。

やはり人間、やると言っても何かと言い訳をつくって後回しにしてしまいがち。3つなんて少ないものですが、日常の忙しさに流されずに達成するのは意外と難しいのかもしれないと思いました。それでも、新しいことにチャレンジ、初めてやってみるということは刺激になっていいものですね。

平成24年は、さっそく第一弾として3連休スノーボードにチャレンジしてきました。

私の雪山経験といえば、中学生のときに行ったスキー教室のみ。それでも「やってみよう」と行くことにしたのですが、皆に「スノボなんてスキーより危険なのに大丈夫なの？」と言われ、行く直前になって及び腰になってしまいました…。



↑ まるで犯罪者 (笑)

たしかに、学生じゃあるまいし、無理はできない。  
そこで、最優先事項は「ケガをせずに帰還すること」にしました。そして各日の目標は、

- |                    |
|--------------------|
| 1日目：とりあえず立ち上がる     |
| 2日目：滑り落ちられるようになる   |
| 3日目：ひとつだけでもターンを覚える |

というケガのしにくい簡単な目標とし、着実に達成していきました。最終的には、ケガをしないという第一目標を達成しただけでなく、一緒に行った友人の中でも滑れる方になっていました。長期的な高い目標をかかげることも大切ですが、足元の小さな目標を確実に達成していくと大きな成果が得られるということを学んだ、雪山の3日間でした。

暖かくなったら、次は登山にもチャレンジしてみたいと思います。きっとまた新しい発見があるはずなので、楽しみです。

# 石島流・年賀状の裏事情

所長 石島洋一

## ●作り続けて35年

私が本格的にユーモアを込めた年賀状を作り始めて35年になります。ずいぶんと長い間続けたものだと思います。

作りはじめの頃、私の母親が言った言葉が忘れられません。私の年賀状を見て、「おまえも会計人になったのだから、もう少し威厳をもった年賀状を書いた方が良いよ」と真顔で忠告してきたのです。それから数年後、「今年はどんなのができたのよ」と作成状況を楽しみにしながら偵察するまでになったのです。

最近では多くの方から、「年賀状を家族で楽しみにしています」とか「明るい正月になりました」などという嬉しいコメントをもらうようになりました。有り難いことです。長く続けるとことの大切さをつくづく感じます。『**継続は力なり**』本当にそうだな、と思います

## ●「三田」見た？

今年の年賀状は日本テレビの「家政婦の三田」をテーマにしました。本当のことをいうと、この番組を見たことはありませんでした。視聴率40%超という最終回も見逃しました。でも、翌朝のモーニングショーでダイジェストをやっていたので、あらすじはわかりました。また、ドラマの結末の笑みを浮かべるシーンとこのドラマで再三繰り返された言葉で、「承知しました」「それは業務命令ですか？」「決めるのはあなた自身です」これが学校等でも流行語になっていることを初めて知りました。これで使えると思ったのは、その時です。

今年はオリンピックの年でもあるし、いきなり「承知（招致）しました」としました。また、主役である松嶋菜々子さんを使って、「三田」がニコニコでナナコに戻るという算式（ $3 + 2 + 2 = 7$ ）を見つけたときは小躍りしました。この計算は会計士として、面目躍

今年の初夢

再び東京にオリンピックを…

**「承知しました」**



家政婦の三田では、笑顔を封印した松嶋菜々子が最後に笑顔を見せたのです。計算されたドラマでした。

計算？ **三田がニコニコでナナ子に戻る**  
**( 3 + 2 + 2 = 7 )**

これ、三田が二田二田としても計算は同じですが、最後がニタニタというのではやっぱり八田(ヤダ)

人間、笑顔が大切。今年はみんなで

笑顔の **たっじん** になりましょう

**これは業務命令です**

この一年がすばらしい年でありますように…

平成24年元旦

如というところですよ（笑）。得意分野は活用すべきものなのでしょう。

#### ●ドラマを見ていない人に対する配慮は？

多チャンネル化の時代に、視聴率40%超というのは驚異的です。ドラマを見ていなくても、話題になっていることを知っている人は多いでしょう。しかし、ドラマを全く知らない人には、「三田」の内容を使うと、訳のわからない年賀状になります。あらすじを入れて見たのですが、説明が多くなり、重くなってしまい、余りおしゃれではないのです。

それで、こんなシーンを想像したのです。正月、ドラマを知らない人が私の年賀状を見て、「何だよ、これ？」と家族に聞くのです。そうすると、家族が説明してくれる。私は、勝手に年賀状が家族の「絆」を作っている姿を想像しました。3、4割の人はドラマを知らないかもしれないが、それはそれで話題になると勝手に決め込みました。

さらに笑顔が大切だから「笑顔の竜人<sup>たつじん</sup>」になろうと書けば、ドラマを知らなくてもわかる。これが免罪符になったところで、最後に書いた「業務命令」は知っている人だけに対するプレゼントでした。でも、ドラマを知らなければ、「業務命令？なんだ、この高飛車な態度は！」と思われたかも知れません（反省）。

#### ●ピンチの連続

こんなふうに年賀状作りを進めているのですが、毎年12月も中旬になると何を書くか「あせり」が出てきます。アイデアが浮かばないのです。「どうしよう、どうしよう…」。たかが年賀状で…と思われるかもしれませんが、結構な重圧がかかってくるのです。

そんなとき、私の年賀状を喜んで見てくれている人の顔を思い浮かべます。そうしたプラスイメージによって、アイデアが近寄ってきてくれるのです。人間はピンチになったときに、良いイメージを浮かべ、一生懸命考えると問題解決の糸口が見つかるようになっていられるでしょう。「重圧」と「思い」によって、感性が研ぎ澄まされてくるのかもしれない。ちょっとしたことがヒントになるのです。

ピンチは大きなチャンスにつながる、そんな発想で人生を送るのがよいのではないのでしょうか。チャンスが訪れる発想ができるかどうか、『それはあなた自身が決めることです』

#### ●まとめ

以上、初めて年賀状作成の思考過程を分析してみました。

1. 継続は力、長く続けることでファンは増えてくる
2. 相手（お客様）のシーンを考えながら、もの作りをすることが重要
3. 常に新しいこと、時流に合ったことを考える
4. 自分の得意分野は大いに利用する
5. 明るい思考をしていると、問題解決のチャンスは生まれる。

